

2020年10月14日

愛知県のトヨタホーム大規模戸建分譲地で
シェアサイクルステーションにIoT電動アシスト自転車を導入
当社初の事例



【IoT電動アシスト自転車】



【スマートロック】



【シェアサイクルステーション】



【TENKUU no MORIZONO MIYOSHI MIRAITO】

パナソニック サイクルテック株式会社は、本日、プライムライフテクノロジーグループのトヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉一丁目23番22号取締役社長後藤裕司）が開発・販売をしている愛知県みよし市の大規模戸建分譲地「TENKUU no MORIZONO MIYOSHI MIRAITO（てんくうのもりぞのみよしみらいと）」のシェアサイクルステーションに、IoT電動アシスト自転車を導入しました。

当社のIoT電動アシスト自転車は、都市を軽快に移動するアーバン通勤用、電動アシスト自転車スポーツタイプ「XU1」に、当社独自開発のスマートロックを装備。GPS・通信機能を有することで、インターネットにつながり、スマートフォンで自転車の予約や開錠が可能です。また、位置情報やバッテリー残量・故障検出など管理・運用に必要な自転車のデータを把握でき、利用者と管理者双方に新たな利便性を提供します。

当社は、2019年5月より、「Tsunashimaサステナブル・スマートタウン（所在地：神奈川県横浜市港北区綱島東、以下、綱島SST）」にて、IoT電動アシスト自転車の実証実験を行っています。この実証実験を通して、自転車に対するニーズを把握し、新たに自転車の動きを検知する「拳動センサー」や、省電力のスマートロックを開発。また、走行範囲、距離などのデータ蓄積・解析により、最適な自転車運行管理システムを構築しました。

「MIYOSHI MIRAITO」とは、名鉄豊田線「黒笹」駅から徒歩8分、東名高速道路「東名三好IC」から約880 mとアクセス良好な愛知大学名古屋キャンパス跡地の緑豊かな高台に位置し、「テクノロジーの力をちょっと借りて、スマートに森と暮らす」をコンセプトにした全288区画の大規模分譲地です。

このMIYOSHI MIRAITOにおいて「イベントやサークル活動などを通じて親交を育む街の交流拠点」 「MORIZONO HOUSE」にシェアサイクルステーションが設置され、当社製IoT電動アシスト自転車3台が採用されました。

本件は、当社製IoT電動アシスト自転車の最初の納入事例で、今後も順次、販売、普及させていく予定です。

当社はIoT電動アシスト自転車と関連するサービスの提供を通じて、安全で快適なモビリティ社会を実現していきます。

【お問い合わせ先】

お客様相談窓口(通話無料)

電話:0120-781-603(受付9:00~18:00)

【製品仕様】

品名	IoT電動アシスト自転車
ベース車両	XU1(エックスユーワン)
走行距離 (36V8Ahバッテリー搭載時)	HIGHモード:約44 km AUTOモード:約57 km ECOモード:約82 km
充電時間	約3時間

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。